

# 大分市立判田中学校 学力向上プラン1 (8月)

	学力状況について	学習状況について
<b>児童の課題</b>	<p>○2年生は、国語・数学・理科・英語の全ての項目で目標値及び県の正答率を上回っている。社会は、全ての項目(知識、活用)で目標値を上回っている。観点については、国語の「書く能力」と社会の全てで県の正答率を下回っている。</p> <p>○3年生は、国語・数学・英語の全ての教科で全国・県の正答率を上回っている。国語の「書くこと」で、全体として正答率は高かったが大分県の平均を少し下回っている項目がある。「読むこと」では、根拠を明確にして自分の考えをもつという点で課題がある。数学では、すべての項目で全国・県の平均を上回っている。英語では、「話すこと」で基本的な表現を使つての応答、「読むこと」でまとまりのある文章を読んで理解するという問題の正答率がやや低い。</p>	<p>○家庭学習習慣は、全国や県と比べて身につけている割合が高く、学習時間も長い。(平日2時間くらい、休日3時間以上が多い)。</p> <p>○時間を意識して着席や授業準備ができ、落ち着いた授業態度が身につけている。</p> <p>○生徒会活動の呼びかけにより、自分の意見を発表する生徒が増えてきた。</p> <p>○忘れ物をしたり、整理整頓が苦手な生徒もいる。</p> <p>○課題をもって人の話を聞いたり、授業に臨んだりすることが今一歩できていない。</p> <p>○2年生は1か月の読書冊数が少ない。(0冊が県、全国に比べて2倍ほど多い。)</p>
<b>指導の状況</b>	<p>○2分前着席・1分前黙想や号令などの授業規律を教師が指導するだけでなく、生徒会活動を通して生徒自らが自主的に考え、協働的に行動することができている。</p> <p>○「学習コーナー」等を活用した補充学習を実施し、低学力層や学習習慣が定着していない生徒に対して、放課後や長期休業中に適宜学力補充を行っている。また学習に取り組む姿勢の指導も重ねていく。</p> <p>○授業開始時の「今日の授業の流れ」の提示や、「今日のめあて」「今日の課題」「まとめ」などの表記の100%徹底を図り、1時間完結授業を推進し、授業改善に向けて努力を重ねている。</p>	

<b>学力に関する達成指標</b>	<p>生徒の自主的・協働的な学習態度を育成するための授業改善を進め、「互いに考えを磨きあつた」と感じる生徒の割合を80%以上にする。</p>
-------------------	--

	【授業改善】	【家庭・地域との協働】
<b>今後の具体的な取組</b>	<p>(授業改善テーマ)「生徒の自主的・協働的な学習態度」を育成する授業づくり</p> <p>(授業改善の重点)○「主体的・対話的で深い学び」を推進する。 ○1時間完結型授業を推進する。</p>	<p>(達成指標)※必要があれば</p>
	<p>(取組内容)</p> <p>○「主体的・対話的で深い学び」の研究を進め、教科授業に取り入れていく。</p> <p>○思考の時間、グループにおける思考や討論の場、グループ内や全体での表現の場等を保証する。</p>	<p>(家庭・地域の取組内容)</p> <p>○授業に集中して臨めるように、家庭と連携して取り組む。</p> <p>○学校公開の際には多くの地域の方々に来校していただく。</p>
	<p>(取組指標)</p> <p>・授業評価シートを実施し、「思考・学びあい・議論・発表」が保証された授業であったかを検証する。</p> <p>・単元テストや生徒自己評価を用い授業評価を実施し、生徒の回答の割合を80%以上にする。</p>	<p>(家庭・地域の取組指標)</p> <p>・授業用具の忘れ物がないように、保護者からの声掛けをしてもらう。</p> <p>・学校通信やホームページ等を活用して、多くの地域の方々に情報発信を行っていく。</p>
	<p>【その他の学力向上の取組】</p> <p>○事前に評価資料を生徒に提示したり、学期末に各教科の「がんばりどころ」を配布したりするなど、指導と評価の一体化を進め、生徒の学習意欲喚起に努める。</p> <p>○学期末に生徒自己評価を実施する。(教職員・保護者にも実施し、その結果を分析・検証・改善する。)</p> <p>○朝学習において読書や視写、ドリル学習を実施し、読解力の育成や弱点補強を図る。</p> <p>○個別の補充学習をさらに充実させ、伸び悩む生徒への指導の充実を図る。</p> <p>○毎日ノート(成果のわかる毎日ノート)の指導(きめ細やかな添削と点検、具体的アドバイスの充実)</p> <p>○学習指導と生徒会活動の両方を通して図書館の活用や読書の推進に努める。</p>	